

## JICA と UNIDO が農業分野での連携強化に向けた共同宣言を締結

2025 年 9 月 2 日

2025 年 8 月 21 日、国際協力機構（JICA）と国際連合工業開発機関（UNIDO）は、農業分野の発展と食料安全保障の向上を目的とした共同宣言を締結しました。8 月 20 日から 22 日にかけて横浜で実施された TICAD9 参加のため来日したデジェン・テツエラ UNIDO アグリビジネス・インフラ開発部長と斉藤幹也 JICA 経済開発部長により、共同宣言への署名が取り交わされました。



署名式の様子

JICA は CARD（アフリカ稲作振興のための共同体）や SHEP（市場志向型農業振興）などを通じ、農業を持続可能なビジネスとして確立し、貧困と飢餓の根絶に貢献することを目指しています。一方、UNIDO は農業の近代化とイノベーションを通じて地域での加工を促進し、食料安全保障の向上を目指しています。JICA はこれまでも UNIDO と連携を行ってきましたが、今回の共同宣言は、協力関係をさらに深化させるものです。

両機関は持続可能な食料システムの構築に向けて協力を進めていきます。具体的には、アグリビジネス（特に中小企業）の支援をはじめ、農業関係者の資金アクセスの向上、農業機械化の促進、気候変動に対応した農業・収穫後技術の導入、食品安全インフラの整備、そして食品加工分野におけるイノベーションの推進など、多岐にわたる分野での連携に向け、今後 3 年間にわたり定期的な対話と情報交換を行っていきます。

この取り組みは、農業を通じた持続可能な開発と国際協力の新たな一歩です。JICA は今後も、UNIDO との連携を通じて、より良い未来の実現に貢献してまいります。

以上